

福岡こども短期大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	福岡こども短期大学（学部・学科等の課程）			設置者名	学校法人 都築育英学園				
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和6年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
	こども教育学科	昭和50年度	220人	幼二種免	昭和49年度 (令和元年度)	160人	143人	143人	53人
				養二種免	平成22年度 (令和元年度)			69人	
	こども教育学科 (小・幼・保コース)	令和4年度	(50)	小二種免	令和4年度 (令和4年度)				
入学定員合計			220人	合計		160人	143人	230人	53人
教員養成に関する情報の公表状況		https://www.fukuoka-kodomo.ac.jp/wp/wp-content/uploads/80a81c80ba7fac38616e6072f5dc7d82.pdf https://www.fukuoka-kodomo.ac.jp/wp/wp-content/uploads/e268823b18e040c08685f5e39296cbd7.pdf							
備考									

教職課程大学実地視察に対する講評

実地視察日：令和7年12月16日（火）

実地視察大学等：福岡こども短期大学（実地）

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程については是正すべき点が確認されたため、今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○貴学としての教員養成に対する理念・構想について、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めていただきたい。

○担当科目に関わる活字業績を有さない教職科目担当教員が見受けられたため、ファカルティ・ディベロップメントを通じた授業内容の省察・改善や、関係学会や研究紀要への論文投稿などにより、担当科目において含めることが必要な事項に関わる研さんを積むことを可能とする環境の整備に引き続き取り組んでいただきたい。

○教職協働の観点に立ち、今後教職課程のスタッフ・ディベロップメントなどの実施を期待する。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教育研究実施組織

○大学内の1単位の考え方、共通開設を含めた全体的なカリキュラムの見直しを行うとともに、養教二種免の課程における、教職専任教員の配置上の基準違反についてはすみやかに解消すること。

○幼二種免の課程及び養教二種免の課程において、「教育の基礎的理解に関する科目等」について、教育職員免許法施行規則に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目及び科目名称や、教職課程コアカリキュラムに定める到達目標が含まれているか判然としない授業科目が散見されたため、授業内容及びシラバスの見直しを組織的に行うこと。

3. 教育実習の取組状況

○教育実習について、遠方であっても全ての教育実習先を訪問していることは評価できる。

○教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- きめ細かな履修カルテについては評価できる。今後は「学習成果可視化システム」の組織的な活用、並びに、「履修カルテ」との一元化や電子化データの活用を期待する。
- 学生を複数の教員でフォローする「My アドバイザー制度」については評価できる。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 今後、近隣の学校における小学校の実習先の確保なども含め、地元教育委員会との連携を進めていくことを検討いただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備については、全般的に良好に整備されており、実習にかかわる施設は特に充実している。
- 図書館や ICT の設備については充実しているが、今後、ラーニング・コモンズや ICT の習熟がはかれるような設備の充実を期待する。
- 大学と同じ敷地内にある附属幼稚園について、学生と子どもが「子ども劇場」を通じて行き来することができ、一緒に学ぶことのできる環境は評価できる。

7. その他特記事項

- 教員が学生の得意分野を伸ばす「こども教育研究会」の取組は評価できる。
- 動物と触れ合う「ワンヘルスガーデン」について、命の尊さを学ぶことができる新たな取組は評価できる。今後、教職課程の取組にいかしていくことを期待する。